スプリットビューアー

SV-70HD
SPLIT VIEWER
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

100R00

この製品を安全にご使用いただくために

⚠ 警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

・指定された電源電圧（AC100V 50/60Hz）以外では使用しないでください。

・AC 電源（室内電源）の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にからませないでください。

・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。

・空調設備を確認してください。

・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。

・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。

・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。

・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

・部品の取り付け方法（極性の逆等）を誤ると危険です。

・電源が入っている時に行うと危険です。

・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。

・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。

また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。

・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。

・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチャー部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

·強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。

・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。

・ファンのほこりの清掃

・カードエッジコネクタータイプの基板はコネクターの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先……ビデオトロン株式会社

〒193-0835　東京都八王子市千人町2－17－16

TEL	042－666－6329
FAX	042－666－6330
受付時間	8:30～17:00
E-Mail	cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042－666－6311
緊急時 **	090－3230－3507
受付時間	9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

…… 目 次 ……

この製品を安全にご使用いただくために ..... **I**

1. 概 説 **1**

《特 長》 1

2. 機能チェック **2**

1. 構 成 2

2. 筐体への取り付け 2

3. 機能チェック接続 2

4. POWER ON までの手順 2

5. 基本動作チェック 3

3. 各部の名称と働き **4**

1. メインモジュール正面／コネクターモジュール 4

2. 各部の説明 4

4. 操作方法 **6**

1. 基本操作 6

2. メニューツリー 7

3. 各設定項目 8

5. 外部インターフェース **10**

GPI 仕様 10

6. SNMP **10**

1. SNMP の使用について 10

2. MIB データ 11

7. 工場出荷設定 （ディップスイッチの操作） **13**

8. トラブルシューティング **14**

9. 仕 様 **15**

1. 機能 15

2. 定格 15

3. 性能 16

10. ブロック図 **16**

1. 概　説

SV-70HD は、3 入力の HD-SDI 映像信号をワイプ分割表示する装置です。

設定で、3 分割／2 分割／任意の入力信号の全画面表示が可能です。入力素材ごとに、8ch の音声レベルメーター、6 桁の英数字キャラクターを画面上に合成表示できます。

《特　長》

- 最大 3 入力の映像信号を任意の位置で縦ワイプし、目視による映像監視が可能
- 入力 3 系統を 左　中央　右 のどこに割り当てるか設定可能
- 分割表示中は、指定した入力信号の ANC データ（音声データを含む）がそのままスルー出力
- WIPE 境界にボーダーカラーを合成可能
- 入力素材ごとに、8ch の音声レベルメーターを表示可能
- 入力素材ごとに、6 桁の英数字を表示させることが可能
- 各入力部に AVDL があり、リファレンス信号に対して約±0.5H の位相差を吸収
- リファレンス信号がない場合、LINE 1、2、3 の優先順位でラインロック
- 筐体リファレンスバスを利用して、リファレンス信号の分配が可能

2. 機能チェック

1. 構 成

【本 体】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	メインモジュール	SV-70HD	1 枚	
2	コネクターモジュール		1 枚	
3	取扱説明書		1 部	本書
4	GPI コネクタ	ヒロセ HR10A-7P-6P	1 個	

2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、コネクターモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。

実装方法については「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」を参照してください。

3. 機能チェック接続

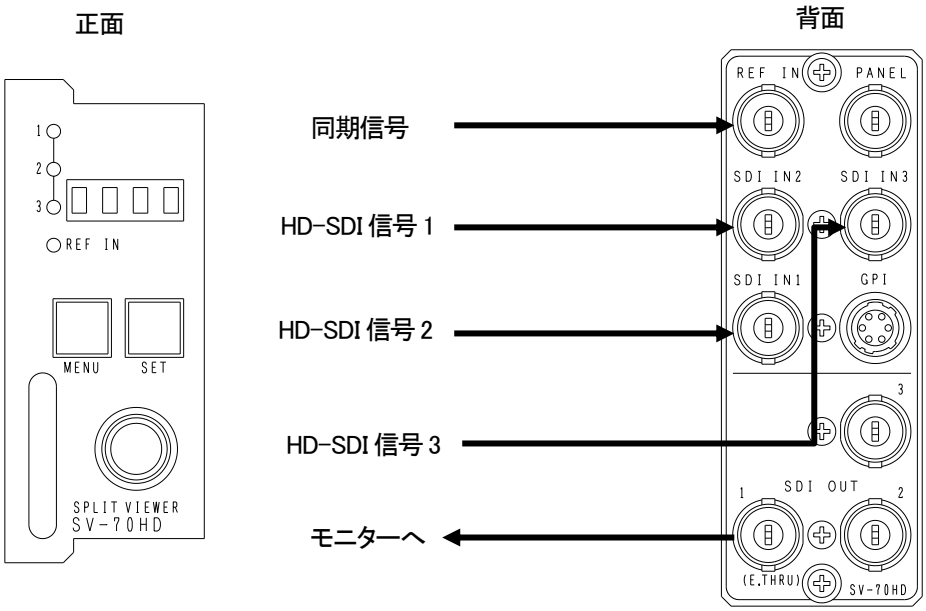


図1 機能チェック接続図

4. POWER ON までの手順

（1） メインモジュール及びコネクターモジュールを筐体へ正しくセットします。

（2） 筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。

（3） 同期信号をREF IN端子へ接続します。（入力しなくても可）

（4） HD-SDI信号を SDI IN1、SDI IN2、SDI IN3にそれぞれ接続します。

（5） SDI OUT1 とモニターを接続します。

（6） 筐体の電源スイッチを投入すると、筐体のパワーランプが点灯します。

5. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は 「8.トラブルシューティング」を参照してください。

（1） 前項の「3.機能チェック接続」「4.POWER ONまでの手順」を参照して、筐体の電源スイッチを投入します。

（2） メインモジュール正面のIN1～3のランプが緑に点灯し、表示器に機種名「SV70」と「SPLT」が繰り返し表示され、映像信号が出力されます。

（3） 工場出荷時設定のまま設定を変更していなければ、[SDI IN1] の画像がモニター画面の左側に [SDI IN2] が中央に[SDI IN3] が右側に表示されます。

（4） MENUボタンを2秒間押し続けるとボタンが点滅し、表示器にメニューが表示され、ツマミを回すとメニューが切り替わります。「4.操作方法」を参照して各種設定を行います。

（5） MENUボタンをメニュー表示中に押すと(押す回数はメニューの階層により異なります)ボタンが消灯し、表示器に「SV70」と分割画面時は「SPLT」、全画面表示時は表示している入力番号が「IN1」「IN2」「IN3」のように繰り返し表示されます。

（6） MENUボタンを押して(2秒間の長押しではなく)点灯させると表示器に「WP1」と表示され、SETボタンを押すとWIPE1設定モードになり、ツマミを回すとWIPE2の設定と切り替わります。ここで再度SETボタンを押すと選択していたWIPE番号の位置をツマミで画面横方向に移動できます。SETボタンを押すと位置設定が保存されます。MENUボタンを押すと保存されずに前の位置にもどります。

（7） MENUボタンを押し消灯させてから、SETボタンを押すと全画面表示に切り替わります。DISPLAY MODEが工場出荷時設定のLOOP時は分割表示→「IN1」→「IN2」→「IN3」を繰り返し、その他の設定時は設定された入力の全画面表示と分割表示を繰り返します。

3. 各部の名称と働き

1. メインモジュール正面／コネクターモジュール

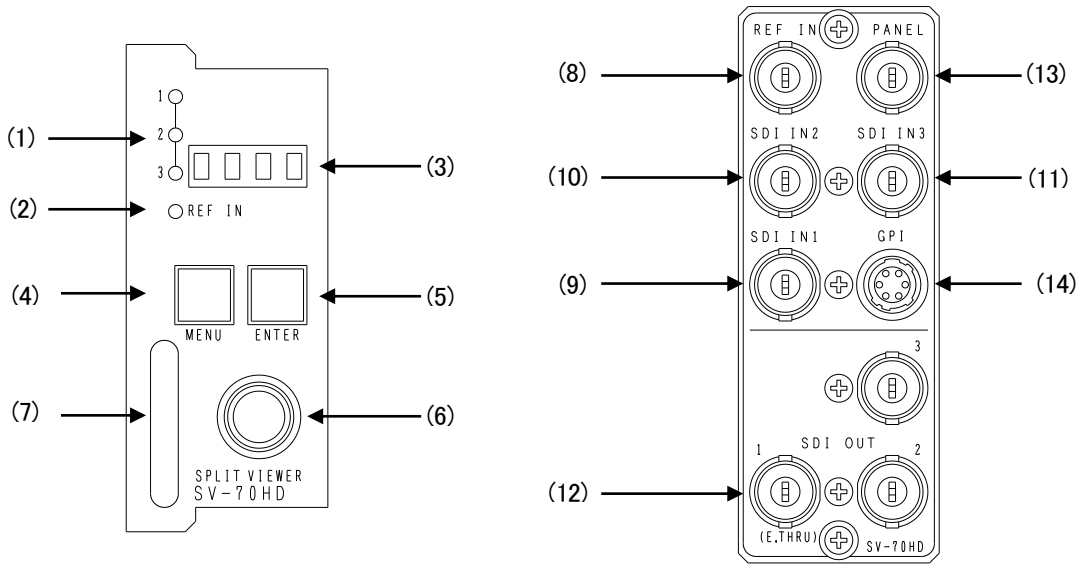


図2　各部の名称と働き

2. 各部の説明

（1） INランプ（1～3）

LINE IN端子（1～3）にSDI（HDまたはD1） 信号が入力されると緑に点灯します。

（2） REF INランプ

ランプの状態は以下のようになります。

ランプの状態	リファレンス選択モード （REF SEL）	内 容
緑点灯	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としてロックしている
	EXT SUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信し、ロックしている
橙点灯	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としているがロックしていない
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信しているが、ロックしていない
橙点滅	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていない
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信していない

(3) 表示器

MENUボタン消灯時は、機種名「SV70」と分割画面時は「SPLT」、全画面表示時は表示している入力番号が「IN1」「IN2」「IN3」のように繰り返し表示されます。

MENUボタン点灯時は、ワイプ位置設定モードになります。

MENUボタン点滅(メニューモード)時は、各種設定メニューを表示します。

(4) MENUボタン

消灯:SETボタンを押すと分割と全画面表示の映像が切り替わります。

点灯:長押しでなく点灯させるとワイプ位置設定モードになります。

点滅:2秒間押し続けると点滅し、各種設定を行うメニューモードになります。

(設定メニュー表示中はキャンセルの動作をします)

(5) SETボタン

MENUボタン消灯時は、このボタンで分割表示と全画面表示を切り替えます。

MENU設定のDISPLAY MODEがLOOPに設定されている場合は

ボタンを押すごとに[→分割表示→INPUT1→INPUT2→INPUT3→]を繰り返します。

MENUボタン点灯時は、このボタンでワイプの番号の決定と、ワイプ位置を決定します。

MENUボタン点滅(メニューモード)時は、各種設定を行う決定ボタンになります。

(6) ツマミ

MENUボタン点灯(ワイプ位置設定モード)時は、ツマミを回すとワイプの位置を移動できます。

MENUボタン点滅(メニューモード)時は、ツマミを回すと各項目を選択または設定できます。

(7) 取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

(8) REF IN端子

同期信号の入力端子です。

(9) ～ (11) LINE IN端子(1～3)

映像信号(1～3)の入力端子です。

(12) SDI OUT端子(1～3)

SDI出力端子です。すべての端子から同じ映像を出力します。エマージェンシースルー対応は1のみです。

(13) PANEL端子

拡張用端子です。(現在未使用)

(14) GPI端子

外部制御端子及び外部出力端子です。詳細は「5.外部インターフェース」を参照してください。

4. 操作方法

1. 基本操作

（1） 電源投入直後は、モジュール正面の表示器には機種名「SV70」と分割画面時は「SPLT」、全画面表示時は表示している入力番号が「IN1」「IN2」「IN3」のように繰り返し表示されます。

（2） モジュール前面のMENUボタンを2秒間押し続けるとボタンが点滅し、設定メニューに入ります。
画面上にメニューが表示されます。
本体正面の表示器は、カーソルで選択している項目を省略して表示します。（図5 参照）

（3） ツマミを左右に回して設定メニューの項目を選択します。設定メニューをキャンセルする場合、MENUボタンを押します。

（4） SETボタンを押して選択した項目を決定します。（図4 [メインメニュー項目]の決定）

（5） この時選択した項目によって更に下の階層メニューに移ります。（図4 [サブメニュー項目]へ移動）
階層下のメニューに入った場合、MENUボタンを押すと一つ上の階層メニューに戻ります。

（6） （3）、（4）の操作を繰り返し、設定の変更を行います。
項目を選択した後、その設定を決定するには必ずSETボタンを押してください。

メインメニュー項目	サブメニュー項目	表示器
→BORDER COLOR	L:100 H:0 S:0	BCOL
BORDER WIDTH		BWID
AUDIO SELECT		ASEL
AUDIOMETER		AMT
METER YELLOW LVL		YEL
METER GREEN LVL		GRL
INPUT MATRIX		MTX
INPUT NAME		INAM
NAME POSITION		POSI
ALARM		ALM
REF SEL		RSEL
GENLOCK V		GENV
VERSION		VER
DISPLAY MODE		DSP

図4 メニュー画面表示例　　図5 省略表示

2. メニューツリー

網掛け部は工場出荷時の設定、[ ]内は本体表示器の表記を示します。

- MENU ……… **MENUを押すとボタンが点灯しワイプ設定メニューに入ります**
  - WIPE1
    - 0～1920 [1280] ……… ワイプ1のポジションを設定
  - WIPE2
    - 0～1920 [640] ……… ワイプ2のポジションを設定

……… **MENUを2秒間押し続けるとボタンが点滅し設定メニューに入ります**

  - BORDER COLOR [BCOL] ……… ボーダーの色を任意の色に設定
    - L:100 H:0 S:0 [L]、[H]、[S] 輝度、色相、彩度の設定
  - BORDER WIDTH [BWID] ……… ボーダーの幅を設定
    - 0～20 [4] ……… ボーダーの幅を2ラインステップで設定します
設定値0で非表示となります
  - AUDIO SELECT [ASEL] ……… 出力信号にエンベデッドする音声の設定
    - INPUT1 [IN1] ……… INPUT1の音声を出力信号にエンベデッドします
    - INPUT2 [IN2] ……… INPUT2の音声を出力信号にエンベデッドします
    - INPUT3 [IN3] ……… INPUT3の音声を出力信号にエンベデッドします
  - AUDIO METER [AMT] ……… 音声メーターのチャンネル数の設定
    - OFF [OFF] ……… 音声メーターを表示しません
    - 2ch [2ch] ……… 左右1chづつ2chの音声メーターを表示します
    - 4ch [4ch] ……… 左右2chづつ4chの音声メーターを表示します
    - 8ch [8ch] ……… 左右4chづつ8chの音声メーターを表示します
  - METER YELLOW LVL [YEL] ……… 音声メーターの赤と黄色の境界レベルを設定
    - 0～-40 [-10]
  - METER GREEN LVL [GRL] ……… 音声メーターの黄色と緑の境界レベルを設定
    - 0～-40 [-20]
  - INPUT MATRIX [MTX] ……… 各入力の 左(L) 中央(C) 右(R) 配置の設定
L C R
    - 1 2 3 [123] ……… 左(L)INPUT1 中央(C)INPUT2 右(R)INPUT3
    - 1 3 2 [132] ……… 左(L)INPUT1 中央(C)INPUT3 右(R)INPUT2
    - 2 1 3 [213] ……… 左(L)INPUT2 中央(C)INPUT1 右(R)INPUT3
    - 2 3 1 [231] ……… 左(L)INPUT2 中央(C)INPUT3 右(R)INPUT1
    - 3 1 2 [312] ……… 左(L)INPUT3 中央(C)INPUT1 右(R)INPUT2
    - 3 2 1 [321] ……… 左(L)INPUT3 中央(C)INPUT2 右(R)INPUT1
  - INPUT NAME [INAM] ……… 各入力の画面内表示名の設定
    - INPUT1 [IN1] ……… INPUT1の名称を英数字で6文字まで入力します
      - INPUT1
    - INPUT2 [IN2] ……… INPUT2の名称を英数字で6文字まで入力します
      - INPUT2
    - INPUT3 [IN3] ……… INPUT3の名称を英数字で6文字まで入力します
      - INPUT3
  - NAME POSITION [POSI] ……… INPUT NAMEの画面内表示位置の設定
    - OFF [OFF] ……… 画面内表示をしません
    - TOP [TOP] ……… 画面上部にINPUT NAMEを表示します
    - BOTTOM [BTM] ……… 画面下部にINPUT NAMEを表示します
  - ALARM [ALM] ……… 接点アラーム機能の各入力の検知ON/OFF設定
    - INPUT1 [ON/OFF]
    - INPUT2 [ON/OFF]
    - INPUT3 [ON/OFF]
  - REF SEL [RSEL] ……… REF信号分配機能の設定
    - EXT DIRECT [EDIR] ……… REF IN信号をリファレンス信号として使用する
    - EXT MASTER [EMAS] ……… REF IN信号をリファレンス信号とし、SUB設定のモジュールに分配する
    - EXT SUB [ESUB] ……… MASTER設定のモジュールからREF信号を受信する
  - GEN LOCK V [GENV] ……… システムに合わせてゲンロックのタイミングを調整します
    - -2～4 [1]
  - VERSION [VER] ……… プログラムのバージョンを表示
  - DISPLAY MODE [DSP] ……… SET SWのモード設定
    - LOOP [LOOP] ……… SETスイッチを押すごとにINPUT1～3と3分割画面を繰り返します
    - INPUT1 [IN1] ……… SETスイッチを押すごとにINPUT1と3分割画面を繰り返します
    - INPUT2 [IN2] ……… SETスイッチを押すごとにINPUT2と3分割画面を繰り返します
    - INPUT3 [IN3] ……… SETスイッチを押すごとにINPUT3と3分割画面を繰り返します

3. 各設定項目

(1) ワイプ位置設定モード

ワイプの位置をツマミを回して設定します。画面両端にワイプを寄せて、90ピクセルより少なくなると画面の端(左:0 右:1920)に自動的に位置設定します。同様にWIPE1とWIPE2の設定値が90ピクセルより少なくなるとワイプ1とワイプ2の設定値を同じ値にします。

WIPE1の設定値はWIPE2を超えて設定できず、同様にWIPE2の設定値はWIPE1を超えて設定できません。

① WIPE1

ワイプ1(左側)のワイプを2ドット単位で移動できます。設定可能範囲(0 , 90～1830 , 1920)

② WIPE2

ワイプ2(右側)のワイプを2ドット単位で移動できます。設定可能範囲(0 , 90～1830 , 1920)

(2) MENU設定モード

① BORDER COLOR

ワイプ上に表示するボーダーの色の設定を行います。

L:[0% - 109%] 明るさ(ルミナンス)の設定を行います。

H:[0° - 359°] 色相(HUE)の設定を行います。

S:[0% - 100%] 色の彩度(saturation)の設定を行います。

② BORDER WIDTH

ワイプ上に表示するボーダーの幅の設定を行います。

2ドット単位で最大20ドットの幅まで設定できます。

0ドットを設定するとボーダーは表示しません。

③ AUDIO SELECT

分割画面時に出力信号にエンベデッドする音声の設定です。

INPUT1からINPUT3のいずれかを選択します。

全画面表示しているときはこの設定は反映されず、画面に表示されている入力の音声がエンベデッドされます。

ワイプ設定で手動でワイプを画面端まで移動し、全画面表示した時にはこの設定は有効になります。

④ AUDIO METER

画面の両端に表示する音声メーターの設定です。

OFFは非表示となり、2ch、4ch、8chの表示を選択できます。

⑤ METER YELLOW LVL

画面に表示する音声メーターの黄色と赤色の境界レベルを設定します。

0dBFsから-40dBFsまで1dB単位で設定できます。

(⑥の緑色との境界の設定値を超える設定はできません。)

⑥ METER GREEN LVL

画面に表示する音声メーターの緑色と黄色の境界レベルを設定します。

0dBFsから-40dBFsまで1dB単位で設定できます。

（⑤の黄色との境界の設定値を超える設定はできません。）

⑦ INPUT MATRIX

各入力信号を画面の左（L） 中央（C） 右（R）のどの位置に表示するか設定します。

MENU表示の数字が入力番号を示し表示されている順で左から右へ表示します。

例. [2 3 1]と表示されている項目を選択すると画面の左に入力2の映像、中央に入力3の映像、右に入力1の映像が表示されます。

⑧ INPUT NAME

画面内にキャラクタ表示する各入力の名前を英数字6文字で設定します。

[→0123 … 9ABC … Zabc … z スペース→]の順で表示される文字から選択して設定します。

⑨ NAME POSITION

画面内に表示する各入力の名前の位置を設定します。

TOP（上部）、BOTTOM（下部）、OFFから選択します。

⑩ ALARM

接点出力から発効するアラーム検知の有効/無効を入力ごとに設定します。

ON：有効 OFF：無効

監視する入力チャンネルに応じて選択します。

⑪ REF SEL

使用する同期信号を選択します。

出力映像のリファレンスを選択します。同一筐体内にREF信号を供給する“REF MASTER”の機器が存在する場合、本機の設定をMASTERにしないでください。

EXT DIRECT REF INのBBS信号に同期します。リファレンス信号を筐体内のバスに出力しません。

EXT MASTER REF INのBBS信号に同期します。リファレンス信号を筐体内のバスに出力します。

EXT SUB 筐体内のバスのリファレンス信号に同期します。

⑫ GEN LOCK V

出力信号の垂直位相を設定します。

-2lineから+4lineの範囲で選択します。初期値は1lineです。

初期値の設定（1Line）ではREF信号に対して±0.5HのLINE信号をAVDLで引き込み、REF信号に対して1H遅れで出力します。

0Lineに設定すると、映像の引き込み範囲は-1H±0.5Hとなりますので、仮にREF信号と映像信号が同相だった場合、出力の映像は1Line落ちて見えます。

⑬ VERSION

バージョンの表示を行います。

⑭ DISPLAY MODE

通常時SETボタンを押して全画面表示させた際の動作を設定します。

LOOP：ボタンを押すごとに[→分割表示→INPUT1→INPUT2→INPUT3→]を繰り返します。

INPUT1：分割表示とINPUT1の全画面表示を交互に表示します。

INPUT2：分割表示とINPUT2の全画面表示を交互に表示します。

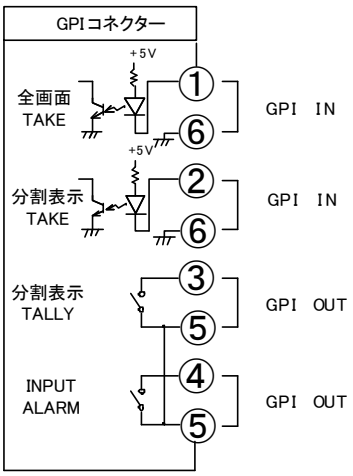
INPUT3：分割表示とINPUT3の全画面表示を交互に表示します。

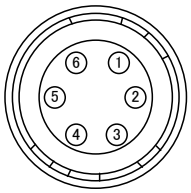
5. 外部インターフェース

GPI 仕様

全画面表示と分割表示が切り替えられ分割時にタリーを返します。

入力信号が検知できないときアラームを発効します。





筐体背面から見たピン番号
HR10A-7R-6S

ピン間の絶対最大定格は60V、300mAです。

ピン番号	信号	信号内容
1	IN1	全画面
2	IN2	分割表示
3	OUT1	分割表示 Tally
4	OUT2	Input Alarm
5	COM	接点出力用コモン
6	GND	GND

※注.外観及び仕様は変更することがあります

6. SNMP

1. SNMP の使用について

（1） Vbus筐体にSNMPモジュールが搭載されている時、SNMPに対応します。

（2） SNMPマネージャーのインストール方法については70シリーズ筐体（Vbus-70Bなど）の取扱説明書に記載されております。「5.SNMPボード」の内容に従い、行ってください。

2. MIB データ

SV-70HDのMIBデータは以下の表に対応します。

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	更新	TRAP
1	product {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.1.index}	R/O	80	機種名	SV-70HD VIDEOTRON Corp.	STRING		
2	hard {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.2.index}	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit15～0: 56h（V） 30h（0）	英数字 2 文字 V 0	INTEGER		
3	kcode {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.3.index}	R/O	4	SNMP 機種コードで登録したコード	170(d)=AA(h)	INTEGER		
4	ref input {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.4.index}	R/O	4	リファレンス入力の状態	0：OK 1：エラー	INTEGER	○	○
5	input1 status {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.5.index}	R/O	4	input1 の状態	0：OK 1：エラー	INTEGER	○	○
6	input2 status {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.5.index}	R/O	4	input2 の状態	0：OK 1：エラー	INTEGER	○	○
7	input3 status {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.7.index}	R/O	4	input3 の状態	0：OK 1：エラー	INTEGER	○	○
10	border color lum {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.10.index}	R/W	4	ボーダーの明るさ	0～109（%）	INTEGER	△	△
11	border color hue {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.11.index}	R/W	4	ボーダーの色相	0～359（度）	INTEGER	△	△
12	border color sat {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.12.index}	R/W	4	ボーダーの色の濃さ	0～100（%）	INTEGER	△	△
13	border width {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.13.index}	R/W	4	ボーダーの幅	ボーダーの幅 0～20	INTEGER	△	△
14	audio select {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.14.index}	R/W	4	エンベデッドして出力する音声の選択	0：INPUT1 1：INPUT2 2：INPUT3	INTEGER	△	△
15	audio meter {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.15.index}	R/W	4	画面内表示する音声レベルメーターの表示チャンネル数の選択および非表示	0：OFF 1：2CH 表示 2：4CH 表示 3：8CH 表示	INTEGER	△	△
16	meter yellow lv {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.16.index}	R/W	4	音声バーメーターの黄色表示するレベルの設定	0～-40(db) 緑色の設定値まで入力可能	INTEGER	△	△
17	meter green lv {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.17.index}	R/W	4	音声バーメーターの緑色表示するレベルの設定	0～-40(db) 黄色の設定値まで入力可能	INTEGER	△	△

○:常時動作

△：MENU 確定時更新

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	更新	TRAP
18	input matrix {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.18.index}	R/W	4	3 入力の[左 中央 右]への配置設定	0～5 Left Center Right 0: 1 2 3 1: 1 3 2 2: 2 1 3 3: 2 3 2 4: 3 1 2 5: 3 2 1	INTEGER	△	△
19	input1 name {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.19.index}	R/W	4	入力 1 の画面内表示する名称	英数字 6 文字 INPUT1(初期値)	STRING	△	△
20	input2 name {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.20.index}	R/W	4	入力 2 の画面内表示する名称	英数字 6 文字 INPUT2(初期値)	STRING	△	△
21	input3 name {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.21.index}	R/W	4	入力 3 の画面内表示する名称	英数字 6 文字 INPUT3(初期値)	STRING	△	△
22	name position {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.22.index}	R/W	4	入力名称の画面内の表示位置非表示、上部、下部 の設定	0:OFF 1:TOP 2:BOTTOM	INTEGER	△	△
23	alarm on off {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.23.index}	R/W	4	各入力のアラーム出力検知機能の ON/OFF 設定	INPUT1 0:OFF 1:ON INPUT2 0:OFF 1:ON INPUT3 0:OFF 1:ON	INTEGER	△	△
24	Reference select {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.24.index}	R/W	4	リファレンス入力の選択	0:EXT DIRECT 1:EXT MASTER 2:EXT SUB	INTEGER	○	○
25	genlock position V {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.25.index}	R/W	4	GENLOCK V(垂直)の設定	-2～4(LINE)	INTEGER	○	○
26	Dipsw {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.26.index}	R/O	4	DIP スイッチの状態	bit0～7:DIP SW	INTEGER		
27	display mode {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.27.index}	R/W	4	FULL スクリーンの DISPLAY モードの選択	0:LOOP 1:INPUT1 2:INPUT2 3:INPUT3	INTEGER	△	△
28	wipe position 1 {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.28.index}	R/W	4	ワイプ 1 の位置の設定	0～1920 最大値はワイプ 2 の値まで 2 ドット ステップで設定されます	INTEGER	△	△
29	wipe position 2 {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.29.index}	R/W	4	ワイプ 2 の位置の設定	0～1920 最小値はワイプ 1 の値まで 2 ドット ステップで設定されます	INTEGER	△	△
30	full screen {1.3.6.1.4.1. 20120.20.1.170.1.1.30.index}	R/W	4	全画面表示の状態 設定	0:分割表示 1:全画面表示	INTEGER	○	○

[1.3.6.1.4.1.20120.20.1.170.1.1]の後に識別子を付加して情報を取得します。

indexはメインモジュールが挿入されているスロット番号となります。

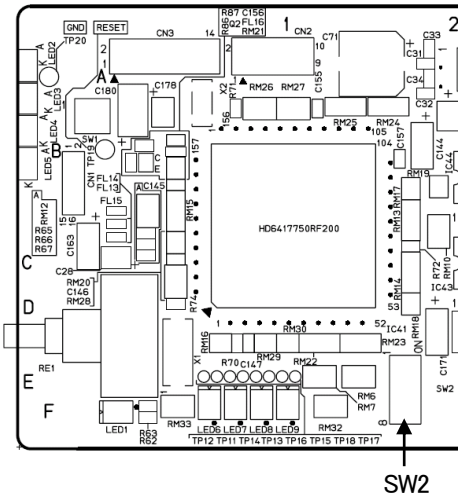
○:常時動作

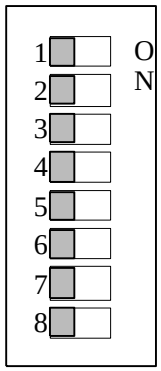
△:MENU 確定時更新

7. 工場出荷設定 （ディップスイッチの操作）

ディップスイッチの設定を行うことでフラッシュの初期化や動作の変更を行うことができます。

ディップスイッチはSW2という名称でメインモジュールの前面側にあります。（配置図 7-1 矢印部参照）





SW2

SW2 の拡大図

右にするとSW の設定が ON

配置図 7-1 ディップスイッチ

機能を使用しないディップスイッチは全てOFFにしてください。工場出荷時はすべてOFFです。

番号: 状態 = 設定内容

1 : ON = 筐体ALARM端子有効

2～4: 未使用

5 : ON = 工場メインテナンス用（必ずOFFで使用してください）

6 : 未使用

7 : ON = フラッシュディスク、RAMディスクのフォーマット、

8 : ON = 工場出荷時の値にします。

・ディップスイッチの7番がONの状態で起動すると、フォーマットを開始します。

初期化が完了するまで約3分かかります。

初期化完了後、SV-70HD正面パネルの表示器に「SPLT」「IN1」「IN2」「IN3」のいずれかが表示されます。

・ディップスイッチの8番がONの状態で起動すると、初期化を開始します。

メニュー内の項目がすべて工場出荷時の設定となります。

注意！ ディップスイッチの5、7、8番は、設定終了後、電源を落として必ずOFFに戻してください。

ONにしたままですと、電源投入時、常に情報や設定がクリアされます。

8. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

（文中の→は対処方法を示しています）

現 象 電源が入らない！

原 因 ・筐体正面の電源スイッチはON側になっていますか？

・筐体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

・筐体のヒューズは切れていませんか？

→もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

現 象 まったく動作しない！

原 因 ・メインモジュール（基板）は奥まで正しく挿入されていますか？

→前面のふたを外し、奥まで確実に刺さっているかご確認ください。

現 象 画面にブランキングが出ている！

原 因 ・入力信号の同期は正しいですか？

→同期した信号を入力してください。

SV-70HDはAVDLを内蔵しており、引き込み範囲はリファレンス信号に対して約±0.5Hあります。出力はリファレンス信号に対して1H遅れで出力されます。設定により出力のV位相を-2～4Vの範囲で変更できますが、引き込み範囲も連動して動きます。

→REF信号を外してください。

REF信号が無くてもラインロックで動作します。LINEと同期したREF信号が準備できない場合、REF信号を外してください。

現 象 出力信号に音声がエンベデッドされない！

原 因 ・MENU内AUDIO SELECTの設定は正しいですか？

→エンベデッド音声の重畳されている入力番号を指定してください。

全画面表示中は画面表示されている入力が強制的に選択されます。

現 象 起動に時間がかかる！

原 因 ・ディップスイッチはすべてOFF設定になっていますか？

→ディップスイッチをすべてOFFにして起動しなおしてください。

詳しくは[項目7 工場出荷設定] をご参照ください

9. 仕 様

1. 機能

・ボーダー	WIPE境界に任意のボーダーカラーを、0～20ドットの幅で付けられます。 ボーダーは任意の位置へ移動できます。
・文字表示	入力チャンネル毎に英数字を6文字まで入力することができます。 表示位置は画面の下部/上部を選択できます。
・音声レベルメーター	チャンネルごとに、最大8chの音声レベルメーター(ピークメーター)を表示することができます。2ch、4ch表示に切り替えることもできます。 レベルメーターの赤/黄/緑の境界を0～-40dBFsの範囲で調整できます。 全画面／分割表示の切換を2つの接点で行うことができます。
・外部接点制御	全画面表示の接点を受ける度に、表示チャンネルが1>2>3>1>2…と切り替わるループモードと指定の1チャンネルを全画面表示するかを選択できます。分割表示の接点を受けると3分割表示(2チャンネル表示の時は2分割表示)になります。
・インプットアラーム	入力信号の有無を検知して、簡易的に接点アラームを出力することができます。アラーム対象チャンネルは任意に選択できます。
・AVDL	各入力チャンネルにAVDLを内蔵しており、引き込み範囲はリファレンス信号に対して約±0.5Hあります。出力はリファレンス信号に対して1H遅れで出力されます。設定により出力のV位相を-2～4Vの範囲で変更できますが、引き込み範囲も連動して動きます。

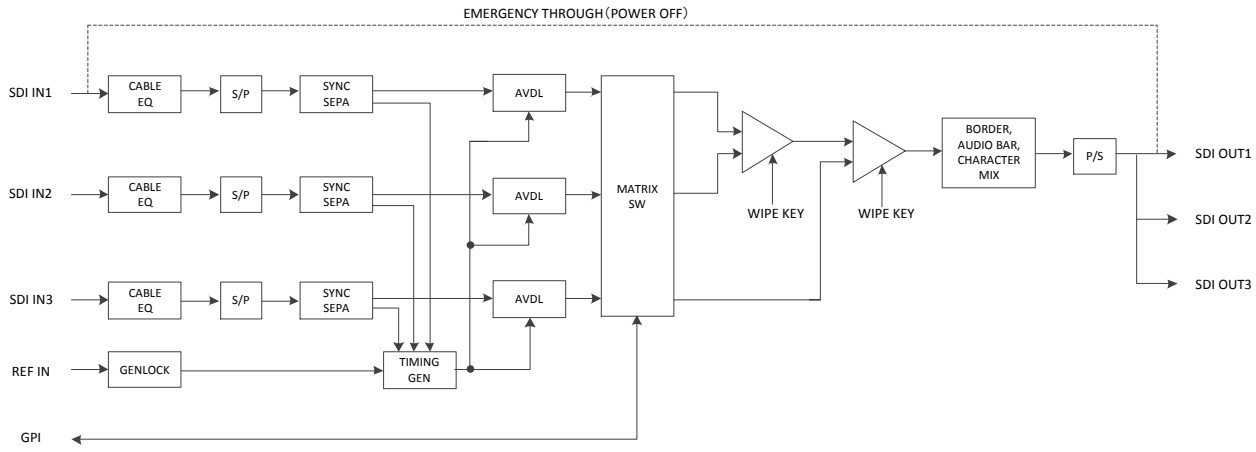
2. 定格

入力信号	
・SDI IN 1、2、3	SMPTE292M準拠、0.8Vp-p/75Ω、BNC　各1系統
・REF IN	BBS、0.43Vp-p/75Ω、BNC　1系統
出力信号	
・SDI OUT1、2、3	SMPTE292M準拠、0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC　各1系統 （電源断でSDI IN1とSDI OUT1はバイパスされます）
外部 I/F	
・PANEL	4Vp-p/75Ω、BNC　1系統　（未使用）
・GPI	HR10A-7R-6S 1系統 接点入力×2、出力×2
映像フォーマット	1080i/59.94
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH(ただし結露なき事)
消費電力	10VA (5V,2A)

3. 性能

入力特性	
・SDI IN 1、2、3	
分解能	10bit
サンプリング周波数	74.18MHz
イコライザー特性	100m/5CFB
反射減衰量	5 MHz～742.5 MHz、15 dB 以上
	742.5 MHz～1.485 GHz 、10 dB 以上
出力特性	
・SDI OUT1、2、3	
分解能	10bit
サンプリング周波数	74.18MHz
信号振幅	0.8Vp-p±10%/75Ω
反射減衰量	5 MHz～742.5 MHz、15 dB 以上
	742.5 MHz～1.485 GHz 、10 dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	270ps 以下(20%～80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	1.0UI
映像引き込み範囲	±0.5H 以内(CH1 と CH2、CH3 の位相差)
GPI	
・接点入力	12mA 最大定格
・接点出力	60V/300mA 最大定格
PANEL	100m/3C2V(未使用)
映像遅延／映像引き込み範囲	リファレンス信号に対して 1H 遅延。 引き込み範囲はリファレンス信号に対して約±0.5H

10. ブロック図



御使用各位　殿

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊 急 時 の 連 絡 先 に つ い て

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社　　製造技術部
〒193-0835　東京都八王子市千人町2－17－16
TEL　　042-666-6329
FAX　　042-666-6330
受付時間　　8:30～17:00
E-Mail:　　cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042－666－6311
緊急時　　090-3230-3507
受付時間　9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。

・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。